

12 月 22 日：投機的な銘柄に買いが集まったが、VN 指数は反落

投機的な銘柄に買いが集中し、マーケットの出来高は急増した。だが VN 指数は反落した。

ホーチミン市場の出来高は増加し、売買高は前日比 18.5% 増の 11 億株、売買代金は前日比 17.5% 増の 33 兆 6,000 億ドンとなった。

ハノイ市場の出来高も急増し、売買高は前日比 27% 増の 1 億 5,100 万株超、売買代金は前日比 20% 増の 4 兆 5,000 億ドンとなった。

外国人投資家はこの日 買い越した。買い越し額は合わせて 2,160 億ドンとなった。

しかし投資家心理は改善されなかった。ホーチミン市場の VN 指数は 0.07% 安の 1,477.67 ポイント、ハノイ市場の HNX 指数は 0.42% 安の 453.10 ポイントでこの日の取引を終えた。

不動産セクターに投資家の買いが集まった。時価総額トップのビンググループ (VIC) は 1.5% 上昇した。DIC 不動産 (DIG)、カンディエン不動産 (KDH)、タンタオ不動産 (ITA) はそれぞれ 3~6% 上昇した。

不動産セクターは VN 指数を 3.4 ポイント押し上げた。しかし銀行、証券、鉄鋼セクターは軟調で、VN 指数の上昇を妨げた。

大手銀行株ではベトコムバンクが 0.4% 高と唯一上昇し、ヴィエティンバンク (CTG)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、VP バンク (VPB)、軍隊商業銀行 (MBB)、サコムバンク (STB) といった他の大手銀行銘柄はそれぞれ 1% を超える下落となった。

投機的な銘柄に投資家の買いが集まり、その多くがストップ高をつけた。ストップ高をつけた銘柄にはサコムホールディングス (SAM)、ドゥックロンザライグループ (DLG)、サオマイグループ (ASM)、イエーワン (YEG)、ADTD グループ (HAR)、FLC ファロス建設 (ROS) が含まれた。

「VN30 指数に上昇トレンドが見られない場合、大型株の売りが発生する可能性があり、投機的な中小型株に投資資金が流れるだろう」（ベトキャピタル）

その一方で「VN 指数は 1,470～1,480 ポイントのレンジで値を固める可能性があり、このレンジを上抜けるためには第 4 四半期に強い経済成長のデータが必要となる」（BOS 証券のアナリスト）

「投資家は第 4 四半期に好業績が予想される銘柄や、電力や食品といった投資家に人気の銘柄の一部を売却する可能性がある」（同社のデイリーレポート）

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。